

製品名: IFITM3 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21583**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:14kD;Observed MW:14kD

抗原情報

遺伝子名	IFITM3
別名	IFITM3;Interferon-induced transmembrane protein 3;Dispanin subfamily A member 2b;DSPA2b;Interferon-inducible protein 1-8U
遺伝子 ID	10410.0
SwissProt ID	Q01628
免疫原	ヒト Fragilis の合成ペプチド

背景

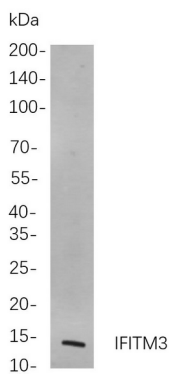
細胞局在: 膜性。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、インターフェロン誘導性膜タンパク質であり、インフルエンザ A

H1N1 ウイルス、ウエストナイルウイルス、およびデングウイルスに対する免疫付与に寄与する。この遺伝子には 2つの転写バリエーションが見つかり、そのうち1つのみがタンパク質コードである。N末端が切断されたアイソフォームをコードする別のバリエーションも報告されているが、このバリエーションの全長は未解明である。[RefSeq 提供、2012年5月]

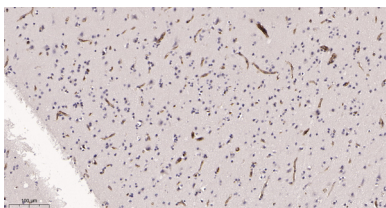
研究分野

-

画像データ



HCT-116細胞ライセートのウェスタンブロット解析 (IFITM3 ウサギ mAb を使用)。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。



パラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学分析。1、IFITM3 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、EDTA pH 9.0 を使用して抗体を回復させた (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。